

進捗状況の概要 【1ページ以内】**【構想の目的と方法論の共有】**

ASEAN地域と日本の将来架け橋となる「開発援助とビジネスの間を繋ぐ視点を備え、経済、法、政治、外交などの諸分野で共通認識を持った次世代国際協カリーダー」養成を目指すという目標は、参加8大学において、世界展開コンソーシアム形成時に共有されたが、平成25年3月11日に全加盟校代表を集めて開催された第1回運営委員会にて再確認された。特に従来のDonor対Recipientという関係でなく、Equal Partnership による双方向での人材育成というコンセプトに加盟校代表は挙って強い共感を表明した。

また、幅広い知識の涵養のため、コースワークに加え、名古屋大学が立地する世界最大級のモノづくり産業集積地という利点を生かした企業との連携や、行政機関、国際機関の訪問、さらに法律事務所におけるインターンシップを組み込んだ特徴のあるプログラムという方法論に関しても大きな期待と賛同を得た。

【進捗状況概要】

交流学生数は、派遣は平成24年度より計画通りSEND短期派遣を開始し、平成25年度も目標を達成した。受入れは①予算の削減②短期間でプログラム内容の学生への周知が難しかったこと③本プログラムに組込む予定の他のプログラムを、加盟校との調整が間に合わず、組込むことができなかったなどの理由により、誠に遺憾ながら目標達成には至らなかった。予算削減に関しては、JASSOの奨学金のみでの受入れを強く加盟校に要請したが、短期プログラムに対する単位認定を加盟校に認めてもらうよう鋭意交渉するも、合意に至らず、大学からの資金拠出も実行したが、差額を埋めるには到らず、受入れ学生数は未達となった。一方でトヨタグループ企業他の協力を得て実施した民間連携プログラムは、平成25年度の実施と共に加盟校より高く評価され、これが加盟校間で共有されたために、平成26年度は新規に3校からJASSOの奨学金のみによる参加申請が出されるなど受入れ学生数が急増している。また、既に同プログラムを実施した2校からは、大幅な学生数の増加が提案されているため、平成26年度以降の目標達成は確実である。

質保証に関しては、各加盟校に対応する名古屋大学の各部署が単位互換、成績評価に関し鋭意交渉を行い、事前のシラバスの交換や指導教員同士のすり合わせなどが奏功し、平成25年度は長期派遣・受入れともに100%単位互換、認定を実現した。また成績評価も相互理解に到った。短期派遣に関しては56名の参加者のうち23名が加盟校にて取得した修了証により名古屋大学で単位を認定され、短期受入れに関しては20名の参加者のうち8名が名古屋大学の単位を取得し加盟校にて認定された。

【養成する人材育成のための評価基準、教育プログラム策定】

上記のリーダー養成のため、①英語能力、②異文化理解活用力、③社会人基礎力、④コミュニケーション・プレゼンテーション能力の4項目の涵養を掲げた。①に関してはTOEIC、TOEFLの基準を、また②、④に関してはVALUE Rubricによる基準を、③に関しては経済産業省の基準を採用するために、本プログラムの内容に合わせて調整を行った。しかし、③はASEAN各国においても基準が異なるために、加盟校の協力を得て、ASEAN地域全体の包括的な評価基準を策定中である。

コースワークとして、リーダー養成のための幅広い知識の涵養のために名古屋大学の5部署が協働し、分野横断的な共同教育プログラム及び共通教育プログラムを策定し、平成26年度より履修生を募集する。

以上進捗状況全般を“Annual Report 2013”として取纏め、加盟校、関係先に配布・共有した。また、平成26年3月13日に開催した第2回運営委員会および評価・質保証委員会にも関係者間で共有した。

【本構想における中間評価までの交流学生数の実績】

平成24年度				平成25年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
12名	11名	0名	0名	52名	56名	48名	26名